

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年10月31日

**【四半期会計期間】** 第60期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社 白青舎

**【英訳名】** HAKUSEISHA CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 内 田 隆

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区岩本町一丁目3番9号

**【電話番号】** 03(5822)1561

**【事務連絡者氏名】** 取締役 執行役員 本社管理本部長 西 川 君 一

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区岩本町一丁目3番9号

**【電話番号】** 03(5822)1561

**【事務連絡者氏名】** 取締役 執行役員 本社管理本部長 西 川 君 一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第59期 第2四半期 連結累計期間		第60期 第2四半期 連結累計期間		第59期	
		自	平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自	平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自	平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)		4,791,255		4,835,051		9,722,693
経常利益	(千円)		175,986		180,048		454,839
四半期(当期)純利益	(千円)		117,846		119,609		296,234
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		106,193		270,044		429,575
純資産額	(千円)		5,845,785		6,358,409		6,169,167
総資産額	(千円)		7,574,122		8,221,492		8,024,197
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		14.60		14.82		36.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		77.2		77.3		76.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		124,359		7,134		406,283
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		153,428		381,570		128,465
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		78,587		90,789		85,713
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,463,654		2,061,332		1,763,416

回次		第59期 第2四半期 連結会計期間		第60期 第2四半期 連結会計期間	
		自	平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自	平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		6.76		7.57

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

第1四半期連結会計期間において、ハクセイサービス株式会社(連結子会社)を平成25年4月1日付で吸収合併いたしました。当社グループ(当社及び連結子会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

この結果、平成25年9月30日現在における当社グループは、当社及び連結子会社1社の合計2社により構成されております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権発足後の金融緩和政策をはじめとする経済対策により、昨年未までのデフレ状況と比較して為替は円安に傾き、日経平均株価が一時1万5千円台となるなど、経済指標においては回復傾向が見られました。しかしながら、増税と社会保険料率上昇を控える中で、実体経済への影響は限定的なまま推移しております。加えて米国の量的金融緩和政策の縮小時期が不透明なことや、未解決の欧州債務問題など海外の懸念材料も残されていることから、景気動向は引き続き注視を要する状態であります。

ビルメンテナンス・警備業界におきましては、入札や相見積もりにより、対象物件の管理及びサービスに係る費用を抑制する動きは常態化しております。既存の受注物件における減額要請や仕様変更などもあり、当社グループの業務全般に渡ってコスト競争力の高さを求められる状況となりました。また、来年4月からの消費税増税が決定し、取引高シェアの高い百貨店・小売業界において、さらなる構造改革が進められるものと予測され、当社グループを取り巻く環境はより一層厳しくなるものと予想されま

す。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、経営資源の集中と効率化並びに営業力の強化を図るため、平成25年4月1日付で連結子会社のハクセイサービス株式会社を吸収合併いたしました。合併後の新組織で新規業務、スポット業務及び既存のお客様からの追加業務受注を目指し、積極的に営業活動を展開しました。

その結果、京都・神戸の百貨店における機械警備業務、神奈川県のある工場における清掃業務並びに京都府の一般ビルの常駐警備業務などを受注することができました。

しかしながら、既存顧客である百貨店の一店舗が平成25年6月末で閉店した影響があったほか、費用面におきましては、退職給付費用や業務ソフトウェアの改修費用など、合併に伴うイニシャルコストが発生いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は、48億3千5百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益1億1千5百万円（同4.5%減）、経常利益1億8千万円（同2.3%増）、四半期純利益1億1千9百万円（同1.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### 関東エリア

関東エリアにおきましては、神奈川県のある工場における清掃業務などを受注することができましたが、百貨店の店舗閉店の影響もあり、売上高は2億3千9百万円(前年同四半期比2.7%減)、セグメント利益(経常利益)は2億7千4百万円(同4.0%減)となりました。

#### 関西エリア

関西エリアにおきましては、京都・神戸の百貨店における機械警備業務や京都のオフィスビルにおける常駐警備業務の新規受注により、売上高は2億9千万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益(経常利益)は2億5千3百万円(同3.4%増)となりました。

#### 中部エリア

中部エリアにおきましては、静岡の百貨店における警備業務の新規受注により、売上高は3億6千5百万円(前年同四半期比31.5%増)となりました。しかしながら、組織変更に伴う費用の増加があったことから、セグメント利益(経常利益)は5百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

### (2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億9千7百万円増加して8億2千1百万円となりました。このうち流動資産は、9千1百万円減少して4億5百万円となりました。これは主として、有価証券が2億円減少したことによるものであります。また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円増加して4億1千6百万円となりました。これは主として、投資有価証券が3億5千1百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加して1億8千6百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億1千9百万円減少して9億1千2百万円となりました。これは主として、買掛金が2千万円、未払法人税等が5千8百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1億2千7百万円増加して9億5千万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円増加して6億3千8百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が1億5千万円増加したことによるものであります。

### (3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から2億9千7百万円増加し、2億6千1百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は7百万円の増加となり、前年同四半期と比べ1億1千7百万円減少いたしました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億8千万円による増加と、法人税等の支払額1億1千9百万円による減少であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は3億8千1百万円の増加となり、前年同四半期と比べ5億3千4百万円増加いたしました。主な内訳は、定期預金の預入・払戻の差額(純額)2億7千万円、有価証券の償還による収入2億円による増加と、投資有価証券の取得による支出1億6百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は9千万円の減少となり、前年同四半期と比べ1千2百万円減少いたしました。主な内訳は、配当金の支払額7千9百万円による減少であります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

(6)従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7)生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8)主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び前連結会計年度末における主要な設備に関する計画からの著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月31日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,000,000	9,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株で あります
計	9,000,000	9,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		9,000,000		450,000		385,637

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社大丸松坂屋百貨店	東京都江東区木場二丁目18番11号	2,046	22.73
株式会社白青舎	東京都千代田区岩本町一丁目3番9号	928	10.32
柏木成章	横浜市青葉区	537	5.97
環境整備株式会社	栃木県宇都宮市岩曽町1333	450	5.00
筒井節子	川崎市麻生区	444	4.93
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	389	4.32
竹山律子	川崎市麻生区	386	4.29
中央資料株式会社	東京都千代田区岩本町一丁目3番9号	284	3.16
住友生命保険相互会社 (常任代理人 日本トラス ティ・サービス信託銀行株式 会社)	大阪市中央区城見一丁目4番35号 (東京都中央区晴海一丁目8番11号)	210	2.33
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	184	2.04
計		5,862	65.13



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 928,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,027,000	8,027	
単元未満株式	普通株式 45,000		
発行済株式総数	9,000,000		
総株主の議決権		8,027	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式931株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社白青舎	東京都千代田区岩本町 一丁目3番9号	928,000		928,000	10.32
計		928,000		928,000	10.32

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、公認会計士小林英、公認会計士安彦潤也両氏による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,873,416	3,001,332
受取手形及び売掛金	925,647	864,607
有価証券	200,000	-
商品及び製品	17,765	15,680
原材料及び貯蔵品	23,240	20,413
その他	157,696	203,982
貸倒引当金	1,247	715
流動資産合計	4,196,518	4,105,300
固定資産		
有形固定資産		
土地	831,226	831,226
その他(純額)	494,076	479,664
有形固定資産合計	1,325,303	1,310,891
無形固定資産		
のれん	15,750	7,875
その他	6,017	34,993
無形固定資産合計	21,767	42,868
投資その他の資産		
投資有価証券	1,543,742	1,895,237
その他	940,317	868,394
貸倒引当金	3,450	1,200
投資その他の資産合計	2,480,609	2,762,431
固定資産合計	3,827,679	4,116,191
資産合計	8,024,197	8,221,492
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	197,640	177,069
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	123,944	65,542
賞与引当金	132,816	142,967
その他	527,571	477,316
流動負債合計	1,031,971	912,895
固定負債		
退職給付引当金	397,441	407,973
負ののれん	68,427	47,915
その他	357,189	494,297
固定負債合計	823,058	950,186
負債合計	1,855,029	1,863,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	395,509	395,509
利益剰余金	5,216,960	5,255,856
自己株式	267,760	267,849
株主資本合計	5,794,709	5,833,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374,458	524,892
その他の包括利益累計額合計	374,458	524,892
純資産合計	6,169,167	6,358,409
負債純資産合計	8,024,197	8,221,492

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,791,255	4,835,051
売上原価	4,245,626	4,273,744
売上総利益	545,629	561,307
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	99,932	104,889
賞与引当金繰入額	18,311	24,239
のれん償却額	7,875	7,875
その他	298,754	309,005
販売費及び一般管理費合計	424,873	446,009
営業利益	120,755	115,297
営業外収益		
受取利息	3,344	4,893
受取配当金	10,568	12,465
負ののれん償却額	23,120	20,511
匿名組合投資利益	12,643	13,030
受取補償金	-	8,213
雑収入	7,663	7,255
営業外収益合計	57,340	66,369
営業外費用		
支払利息	2,083	1,556
雑損失	26	61
営業外費用合計	2,110	1,618
経常利益	175,986	180,048
特別利益		
固定資産売却益	-	47
保険解約返戻金	-	2,430
特別利益合計	-	2,478
特別損失		
固定資産廃棄損	522	364
投資有価証券評価損	4,800	-
ゴルフ会員権売却損	-	1,383
特別損失合計	5,322	1,747
税金等調整前四半期純利益	170,663	180,779
法人税等合計	52,817	61,169
少数株主損益調整前四半期純利益	117,846	119,609
四半期純利益	117,846	119,609
少数株主損益調整前四半期純利益	117,846	119,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,653	150,434
その他の包括利益合計	11,653	150,434
四半期包括利益	106,193	270,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,193	270,044

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	170,663	180,779
減価償却費	25,749	23,205
のれん償却額	7,875	7,875
負ののれん償却額	23,120	20,511
貸倒引当金の増減額(は減少)	60	531
賞与引当金の増減額(は減少)	9,188	10,151
退職給付引当金の増減額(は減少)	401	10,531
長期未払金の増減額(は減少)	10,456	1,513
受取利息及び受取配当金	13,912	17,358
支払利息	2,083	1,556
投資有価証券評価損益(は益)	4,800	-
固定資産廃棄損	522	364
固定資産売却損益(は益)	-	47
匿名組合投資損益(は益)	12,643	13,030
売上債権の増減額(は増加)	35,626	61,039
たな卸資産の増減額(は増加)	562	4,865
前払費用の増減額(は増加)	25,832	40,670
リース投資資産の増減額(は増加)	61,358	70,272
仕入債務の増減額(は減少)	57,465	18,720
未払費用の増減額(は減少)	629	303
未払消費税等の増減額(は減少)	5,550	7,556
リース債務の増減額(は減少)	63,301	78,259
保険解約返戻金	-	2,430
受取補償金	-	8,213
ゴルフ会員権売却損益(は益)	-	1,383
その他	4,957	83,007
小計	113,897	96,449
利息及び配当金の受取額	26,708	23,953
利息の支払額	1,934	1,556
法人税等の支払額	23,934	119,925
その他	9,623	8,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,359	7,134

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	510,000	340,000
定期預金の払戻による収入	610,000	610,000
有価証券の取得による支出	300,000	-
有価証券の償還による収入	100,000	200,000
投資有価証券の取得による支出	11,929	106,720
子会社株式の取得による支出	-	5,100
匿名組合出資金の払戻による収入	12,105	11,048
有形固定資産の取得による支出	48,406	5,556
有形固定資産の売却による収入	-	47
無形固定資産の取得による支出	-	9,800
保険積立金の解約による収入	-	37,476
長期貸付けによる支出	-	1,507
長期貸付金の回収による収入	935	200
その他	6,133	8,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	153,428	381,570
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	88
配当金の支払額	71,907	79,923
その他	6,679	10,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,587	90,789
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	107,655	297,915
現金及び現金同等物の期首残高	1,571,310	1,763,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,463,654	2,061,332

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 前連結会計年度末において当社の連結子会社でありましたハクセイサービス株式会社は、平成25年4月1日付で当社が吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	2,603,654千円	3,001,332千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,140,000千円	940,000千円
現金及び現金同等物	1,463,654千円	2,061,332千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	72,642	9.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月25日 取締役会	普通株式	80,713	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	関東エリア	関西エリア	中部エリア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,447,044	2,066,502	277,708	4,791,255		4,791,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	2,447,044	2,066,502	277,708	4,791,255		4,791,255
セグメント利益	286,279	245,168	3,431	528,016	352,030	175,986

(注)1 セグメント利益の調整額 352,030千円には負ののれん償却額23,120千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 375,151千円が含まれており、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	関東エリア	関西エリア	中部エリア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,379,835	2,090,006	365,209	4,835,051		4,835,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	2,379,835	2,090,006	365,209	4,835,051		4,835,051
セグメント利益	274,817	253,507	5,218	533,543	353,494	180,048

(注)1 セグメント利益の調整額 353,494千円には負ののれん償却額20,511千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 374,006千円が含まれており、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成25年4月1日付で連結子会社であるハクセイサービス株式会社の吸収合併を機会に、組織間のコミュニケーション力の向上、意思決定のスピード化、業務効率化の観点から、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の業務カテゴリーによる「ビルメンテナンス事業」「警備事業」から、エリアをベースとした「関東エリア」「関西エリア」「中部エリア」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円60銭	14円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	117,846	119,609
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	117,846	119,609
普通株式の期中平均株式数(株)	8,071,369	8,071,326

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月29日

株式会社 白 青 舎  
取締役会 御中

小林英公認会計士事務所

公認会計士 小 林 英

安彦潤也公認会計士事務所

公認会計士 安 彦 潤 也

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社白青舎の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

私たちは、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社白青舎及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。